

2017年5月吉日

会員各位

第67回全国学術大会の自由論題・テーマ分科会募集のお知らせ

2017年日本現代中国学会全国学術大会を、10月28日(土)・29日(日)の両日、愛知大学名古屋キャンパス(<http://www.aichi-u.ac.jp/profile/campus-nagoya.html>)において開催することになりました。次ページ以下の応募要項の通り、会員の皆様から自由論題の報告希望者およびテーマ分科会の開催希望者を募集いたします。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

なお、今大会の共通論題は「ロシア革命百年と中国」です。

百年前にロシアで起こった政治変動が、その後の中国の歴史に及ぼした巨大な影響については贅言を要さないでしょう。また、ロシア革命が生み出した事物の一部が、変容しながらもなお中国において機能を発揮し続けていることも否定できません。しかし、ソ連邦の崩壊、中国の改革開放政策の展開という事態の前に、いまやロシア革命と今日の中国との結びつきなどを想起する機会はほとんどなくなってしまいました。他方では、「歴史の終わり」が喧伝された冷戦終結直後の一時期が過ぎ去り、各地でナショナリズムの動きが台頭し、地政学的な国家間の角逐が顕著になるなど、世界はロシア革命以前を思わせる光景を呈しているようにも見えます。

このような認識を踏まえて、あらためてこの1世紀に及ぶ「ロシア革命」と中国との関わりについて多面的に考察したいというのが、今回の共通論題のねらいです。中国とソ連(ロシア)の共産党間・国家間の関係、経済発展の経験をめぐる比較、政治・法制度の受容と変容、文化的影響関係など、なお問い続けなければならない諸問題が数多く残されています。節目の年にあたり、会員の皆様の積極的なご参加を期待いたします。

応 募 要 項

自由論題の報告希望者およびテーマ分科会の開催希望者を以下のように募集します。事務的混乱を避けるために、やや煩瑣なご依頼事項を列挙しておりますことをお許しください。

①自由論題での報告（一人の報告時間は25分程度）をご希望の会員は、氏名・所属・報告テーマおよび要旨（800字程度）を下記⑩の連絡先までお送りください。

なお、**大学院生**は指導教員、またはそれに相当する会員の推薦状（推薦者の氏名、所属、連絡先、推薦理由を記載。書式は自由）が必要です。報告者は会員でなければなりません（非会員の場合は下記⑤を参照）。

②テーマ分科会の開催（報告者2～3名、約2時間）をご希望の会員は、企画者の氏名と所属、企画テーマ、討論者の氏名と所属、司会者の氏名と所属を確定したうえで、下記⑩の申込先までお送りください。分科会は原則として会員で構成するものとし、変更はできません。確認のため、報告者、討論者、司会者が会員であるかどうかを明記してください。

③自由論題およびテーマ分科会の応募に関するご連絡は、すべて電子メールでお願いします。その場合、ウィルス感染防止のため、**添付ファイルは使用せず、メール本文にテキスト**で記載してください。なお、推薦状も原則としてメールで作成し、応募者はそれを転送するかたち（メール本文にペースト）としてください。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

④締め切りは**6月30日（金）**とします。

⑤学会非会員の方で、自由論題での報告をご希望の方は、入会が応募の条件となります。入会申請をしていただいたうえで（日本現代中国学会のウェブサイト <http://www.genchugakkai.com/nyukai.html> を参照）、ご応募ください。入会手続きが報告発表までに完了しない場合でも、応募済みであれば発表は可能です。

⑥大会参加の旅費および宿泊費等は自己負担となります。

⑦報告希望者、テーマ分科会開催希望が多数に上る場合は、内容や会員歴などをふまえて調整させていただくことがありますので、あらかじめご承知おきください。

⑧応募をされた方には、メールにて実行委員会より応募受理の連絡をいたします。メールを送信した後、1週間以内に連絡がないときは、再度メールにてお問い合わせください。

⑨自由論題報告者は、大会10日前の10月18日(水)までに報告原稿(フルペーパー)またはレジュメのPDFファイルを実行委員会まで提出してください。提出は任意です。提出された資料にはパスワードを付し、期間限定で学会ホームページに掲載します。なお、パワーポイント等の機器使用を希望される場合は申し込み時に必ず明記してください。

⑩応募申込先は、以下の実行委員会メールアドレスです。2017genchu@gmail.com

⑪応募のメール送信をする際、件名を以下のようにしてください。

*自由論題への応募の場合は「自由論題」

*テーマ分科会応募の場合は「テーマ分科会」

この機会に当学会未加入の優秀な大学院生の皆様にも、ぜひ入会と報告発表をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

日本現代中国学会第67回全国学術大会
実行委員会事務局(砂山幸雄研究室)